

美ヶ原スノートレッキング山行報告



【山行日】2019年 3月 2日(土)～3日(日)

【集 合】岩舟支所P AM 7:00

【費 用】マイカー2台 : 15,500円

【メンバー】CL:鈴木、安西、大西、関、津佐、
成田、福島、藤原、渡辺

3月2日(土) 晴れ 山本小屋から王ヶ頭&
王ヶ鼻まで行き、復路はアルプス展望コースを
歩きスノートレッキングを楽しむ。

岩舟支所P7:00＝山本小屋 10:00/10:30～美しの
塔 10:50～王ヶ頭 11:10～王ヶ鼻 11:30/12:00～

烏帽子岩 12:40/12:50～美しの塔 14:10～山本小屋 14:30

去年1月にスノーシューハイクで訪れ、コースも宿も最高なので今年も行きたいとリクエストがあり計画した。宿のお兄さんが「スノーシューハイクに来るなら3月がお勧めだよ」と言うので3月に計画したが、今年は雪が少なくスノーシューハイクは出来ないようだ。上信越道から中部横断道へ進み、佐久南インターで降りて国道142号線を進む。和田役場の信号を左折し、県道178号線を進むと美ヶ原高原山本小屋に着く。冬季はこのルートしか通行できないが、和田役場からの山道も雪が少なくスタッドレスタイヤであれば2駆でも問題なく登れる。山本小屋に着き、受付を済ませたら大広間を借りて出発の準備をする。準備が出来たら外に出て、ストレッチを済ませて出発する。



雪が少ないのでスノーシューは車に置いて行き、アイゼンは持参してツボ足でスタートする。

ここから車道を歩くが、積雪は20cm位で良く踏み固められ歩き易い。右側に真白く雪化粧した北アルプスが連なり、皆さんから一斉に「ウワー凄い～～」と歓声が上がる。美しの塔で休憩を取り、



目の前には電波塔が立つ王ヶ頭のおおらかなピークが美しい。皆さん美しの塔の鐘を鳴らしたり、北アルプスの写真を撮ったり楽しんでいる。スノーシューを履いて無いので軽快に歩き、予定よりかなり早く王ヶ頭へ着いた。山頂碑の前で記念写真を撮り、時間が早いので王ヶ鼻まで行き昼食にする。王ヶ頭からの下りは急坂で、雪があるので滑りやすく慎重に下って行く。車道に出ると平坦になり、樹林の間の道を辿ると露岩の展望台「王ヶ鼻」に着く。

ここからの眺望は素晴らしく、北アルプスの山々が北は白馬岳から南は乗鞍岳まで長大な雪の壁



が連なって見える。展望所には山の名前が書いてある写真があり、山の位置を確かめながら山座同定を楽しんでいた。ここでランチタイムとし、お湯を沸かして各自持参したカップ麺をいただく。今日は風も無く穏やかな日恵に恵まれ、カップ麺を食べながらのんびりと景色を楽しむことが出来た。ここから往路を戻り王ヶ頭ホテルでトイレを借りる予定だったが、手前からアルプス展望コースを歩くことにする。雪が多いと片斜面の危険なトラバースになるので利用できないが、今年は雪が少なく

夏道が出ているのでツボ足でも安心して通行できる。

霧ヶ峰や八ヶ岳、蓼科山等を眺めながら歩ける展望のコースなので、スノートレッキングに最高のコースである。途中の烏帽子岩で休憩し、キーウイやチョコを食べながら明日登る茶臼山の展望を楽しむ。百曲りへの分岐を左に進むと塩くれ場に出て、そこから車道を進むと山本小屋に戻る。



部屋に荷物を運び、お茶を飲んで落ち着いたら風呂に行く。宿の女将が4時頃にならないとシャワーが出ないと言っていたが、徳ちゃんが使ったら出るというので入ることにする。ところが途中から水しか出なくなり、頭を洗うことが出来なかった。風呂から上がったら男性の部屋に集まり、八海山とワインで乾杯し宴会が始まる。楽しい宴会が夕食まで続き、6時になったら食堂に行き夕食になる。カモ鍋がメインでサーモンのお刺身やアユの甘露煮等々、沢山料理が並び食べ切れない。御馳走様をしたら部屋に戻り、明日に備えて早めに床についた。

3月3日(日) 晴れ 山本小屋から茶臼山をピストンし、山本小屋で昼食後岩舟支所へ

山本小屋 8:55～塩くれ場 9:10～茶臼山 10:00/10:20～～塩くれ場 11:00～美しの塔 11:20＝山本小屋 11:30/12:30＝道の駅「ヘルシーテラス佐久南」13:30/13:50＝岩舟支所 P16:00



朝6時に起きて窓の外を眺めると曇り空だが、東の空は明るく蓼科山や八ヶ岳が良く見える。

天気予報では下り坂で、昼過ぎから雨が降る予報になっていた。今日の茶臼山山行は、午前中で降りてくる予定なので決行することにした。7時30分から朝食になり、5分前に食堂に行き入口前に並んだ。すぐに扉が開いてテーブルに付き、食事の前に昼食のメニューを選び、オーダー票に記入して係の方に渡す。朝食はダブルのハムエッグは陶板で焼き、サ

ラダや煮物、海苔や納豆とおかずが豊富で食べ切れない。

朝食が済んだら部屋に戻り、支度を整えたら登山靴を履いて外に出る。

ストレッチを済ませ、今日もスノーシューは車に置いてアイゼンを持参してツボ足で出発する。

曇っているが視界は良く、今日も北アルプスの山々が真白く見える。思ったより良い天気、皆さんも笑顔で軽快に歩いて行く。塩くれ場を直進し、少し先の道標を左に茶臼山に向かって進む。

牧場の中は雪が少なく夏道が解り、迷うことなく安心して歩ける。風も無く穏やかで、寒さを感じることなく歩け会話が弾む。ハヶ岳には朝から雲が掛かり見えなかったが、隣の蓼科山は良く見える。

牧場の柵を出ると少し先から一旦下り、鞍部から茶臼山への急登が始まる。下りは上手に下ったが、山頂直下の急登になると慣れない人は滑って登れない。先頭まで行きキックステップと、静荷重・静



移動での登り方を指導し山頂まで登ることが出来た。茶臼山山頂には先行グループが2組休憩しており我々9名を併せ賑やかな山頂になった。早速山頂標識の前で記念写真を撮り、眺望を楽しみながらデコポンやクッキーのおやつをいただく。風も無く穏やかな山頂でのんびり過ごし、写真を撮ったら下山する。山頂からは急降下になるので、心配な人はアイゼンを付け下ることにする。



自信がある人はアイゼンを付けずに下ったが、

何名か滑って転んでいた。大騒ぎしながら下り、登り返して牧場内に入ると平坦になり安心して歩ける。塩くれ場から車道を進み、美しの塔で最後の休憩を取り山本小屋に戻った。部屋に戻って帰る準備をしたら、荷物を持って昼食を食べに食堂へ行く。朝食時にオーダーした食事が順番に運ばれ、美味しくいただいた。昼食が済んだら荷物を車に載せ帰路につく。下りの道路は雪がさらに融け、ほんの一部だけ慎重に運転すれば国道に出られた。

途中の道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄り、お土産や野菜をゲットし岩舟支所に向かう。

上信越道は渋滞も無く順調に走り、予定よりも早く岩舟支所に帰着出来た。

雪が少なく、スノーシューのトレーニングは出来なかったが、好天に恵まれ北アルプスの絶景を見ながらスノートレッキングを楽しめ、皆さんが大満足の山行になったようだ。

